

2011年度(平成23年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2011年(平成23年)4月15日
-------	-------------------

校番 21	福山市立 駅家中 学校
-------	-------------

1 学校教育目標

自主的に生活を切り開き、主体的に学習し、仲間と共このびていく生徒の育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

絆を大切に「豊かな心」「確かな学力」「生活力」をつけ郷土を愛し
21世紀を担う人材を育成する駅家中学校

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

「駅家中学校で学んでよかった」と評価される教育を提供する学校

1 ビジョン達成に向け、「人間力の育成」と「学力の強化」を図る。
2 めざす生徒像
(1)主体的に行動する生徒(すすんで挨拶する生徒、すすんで学習する生徒)
(2)優しさと思いやりの心を持った生徒(仲間を大切にできる生徒、ボランティアの心を育んだ生徒)
(3)当たり前のことが当たり前でできる生徒(ルールを守ることのできる生徒)

3 めざす生徒像達成に向け、次の6点の『生徒行動目標』を具現化した生徒の姿が見える学校。
①真剣に授業をうけよう ②友達を大切にしよう ③部活動にすすんで参加しよう
④あいさつができる生徒になろう ⑤みんなの手で美しい学校をつくろう
⑥ルールが守れる生徒になろう ※④⑤⑥を重点目標とする。

3 自校の現状分析

『生徒行動目標』の重点3項目「あいさつ」「ルール(特に時間)を守る」「美しい学校」に関わる昨年度末生徒アンケートで、1・2年生(現2・3年生)の実態は、(肯定的回答の割合)
・先生や来客の人に挨拶をしている…91% ・駅家中は挨拶のできる学校である…93%
・チャイムが鳴り終わるまでに席についている…94% 遅刻をしていない…93%
・下校時刻を守っている…95% ・服装などのきまりを守っている…93%
など、重点とした2年間の実践により、一定の成果を得ることができると同時に、地域・保護者からも評価されるようになってきた。しかし、昨年度から重点とした「美しい学校」については、
・掃除をきちんとしている…82% ・駅家中はゴミなど落ちてなくきれいな学校…64%
という結果であり、環境美化が不十分であった。また、落ち着いた風土は定着してきたものの、
・駅家中は真剣に授業ができる学校である…78% ・授業中、私語はしていない…79%
・授業での忘れ物をしていない…89% ・家庭学習は毎日1時間以上している…73%
という状況で、基礎学力に深く関係する授業への集中や、家庭学習習慣の定着も課題である。

4 研究主題

(1) 研究主題

生きる力の育成
～キャリア発達に関わる能力の育成と基礎・基本の定着をめざして～

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
市	福山市教育支援事業(総合的な学習の時間)	H22~H24, 3年間
市	少人数指導推進支援事業(数学)	1年間

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
昨年度に引き続き次の①②に取り組み、それぞれのレベルアップを図る。 ① 基礎基本の定着 ・授業改善を通して「集中して学習する力」をつける ・家庭学習習慣を定着させる。 ② 生徒行動目標の具現化 「あいさつ」「ルールを守る」「環境美化」の徹底を図る。	・全体的に「落ち着いた雰囲気の中での学校生活」が定着し風土となり始めている。しかしそれが学力の向上に結び付いていない実態があった。昨年度までの「話を聴く力(姿勢)」をつけるから、ペア学習や班学習を仕組みことで、主体的に学習に参加する生徒を育てていきたい。 ・『生徒行動目標』より昨年度は「あいさつ」「ルール(時間)を守る」「美しい学校をつくる」の規律3要素の徹底に取り組んできた。本年度はさらに「自ら進んで挨拶できる生徒」や「ゴミを落とさない。ゴミを拾う生徒」など、自ら動く生徒を育て、レベルアップを図りたい。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	() 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確かな学力	2	主体的に学ぶ生徒の育成を通して基礎・基本の学力定着を図る ・学習規律の徹底と学習意欲の向上 ・家庭学習習慣の定着	★	継続	集中して学習する力を着ける取組みから、「駅中は真剣に授業ができる」と答える生徒を80%以上にする。		▽班(3~4名)活動やペアワークを活用した授業展開を通し、全員参加の授業づくりを推進する。(教職員アンケートにおいて、「7割以上の授業で班学習やペアワークを取り入れた」に対する肯定的回答を50%以上にする) ◇「学習のルールを守る」ことの徹底。(学習のルール…『チャイム着席』『授業始め終わりのあいさつ(語先後礼)』『忘れ物をしない』『話や発表を聴く』『私語をしない』について生徒アンケートでの平均肯定的回答を85%以上にする)		
				新規	家庭学習を1日1時間30分以上する生徒を70%以上にする		◇予習が活きる授業展開を工夫し、「予習・復習ノート」「漢字帳(国)」「数学プリント」及び「単語帳(英)」の平均提出率を75%以上にする。		
豊かな心	2	生徒の自主性や心を育成する教育の充実	★	継続	生徒行動目標(「あいさつ」「ルールを守る」「環境美化」の3項目を重点)の具現化を図り、「生徒行動目標を意識して行動している」に対する肯定回答を80%以上にする。		▽「気づく・動く・ひろげる(つなぐ)」を教職員の行動目標に、「日常的に『生徒行動目標』を指導に活用した」と回答する教職員を90%以上にする。 △「自分から先にあいさつができる」「時間を守っている」「不要物を持ってきていない」「ゴミに気付いたら拾っている」の4項目について、生徒の平均肯定回答を70%以上にする。		
				新規			◇学校地域支援本部との連携や生徒会によるボランティア活動を年間3回以上実施し、1回以上活動に参加したと答える生徒を30%以上にする。		
				継続	自己の能力や心を育てる教育を推進し「駅家中は誇りが持てる」と答える生徒を80%以上にする		◇1分間スピーチの活用及び、日常的な「心に響く言葉かけ」や「自分を振り返ることの大切さ」の指導を通し、生活メモ(5行以上記入)の提出率を85%以上にする。 △キャリア発達育成プログラムを実践し「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に答える生徒を80%以上にする。		

健やかな体	3	新体力テストの全項目で、全国平均を上回る。	継続	体力向上のための学習内容の工夫を図る。	▽体育授業の90%以上の時間に、体力向上を図るための、学習内容を取り入れる。	
			継続	部活動の活性化を図り「駅中は部活動が盛んである」と答える生徒を90%以上にする。	△「部活動に積極的に参加した」と答える生徒を70%以上にする。	
教職員 力量ある	3	校内研修を充実し、教員の生徒指導力・教科指導力を向上する。	新規	学期に1回の授業観察週間や視点を明確にした研修など、研修内容の充実を図る。	▽年間に4回以上、自校や他校の教員の授業観察を通して、「授業のあり方について学ぶ機会を持った」という教員を70%以上にする。 ▽「ことばの教育」を視点にした校内研修会を3回以上実施する。	
信頼の学校 市民から	2	校長を中心とした組織的な学校運営	★ 継続	「チーム駅家」という意識(目標70%)を高め、学年や分掌を組織的に機能させる。	▽毎週1回の校務会や月1回の企画会での進捗度のチェックや状況交流の内容を充実し、各主任・主事を中心として教職員が自らの役割を果たす分掌・学年を構築する。 (教職員アンケートにおいて、所属する分掌・学年で、「自分の役割を認識している」及び「自分の役割を果たしている」の平均肯定的回答を90%以上にする)	
			継続	学校からの情報発信を推進し、「学校の活動が良く分かる」と答える保護者を70%以上にする。	▽学年便りを各学年年間8回以上、学校短信または学校便りを年間8回以上発行する。 ▽5月から毎月1回以上HPを更新する。	
			★ 新規	不祥事0を実現する	▽各学期に2回以上、不祥事防止に関する校内研修会を実施し、その内容をHPで公開する。	